

第27回 七五読み古事記勉強会

勝ち佐備

倭塾サロン
小名木善行

國學院大學第4回『古事記』アートコンテスト大学生部門で【特選】に選ばれました
多摩美術大学・龍野由衣さん作「天照大神と建速須佐之男命の宇気比」 <https://x.gd/fDfaf>

前回のお話

須佐之男命の提案により、二神はおのおの子を生むことになりました。

はじめに女性の三神が、

次に男性の五神が生まれました。

天照大御神は、

「この後から生まれた五柱の男の子は、

私の持ち物から成りましたから、

私の子です。」

先に生まれた三柱の女の子は、

あなたの物から成りましたから、

あなたの子です」

と速須佐之男命にお告げになりました。

今回のお話

先に生まれた

多紀理毘売命は、胸形(むなかた)の奥津宮に、

市寸嶋比売命は、胸形の中津宮に、

田寸津比売命は、胸形の辺津宮(へつのみや)に

坐(いま)されます。

この三柱の神は、胸形氏らが斎(いつ)く

三前大神(みまへのおほかみ)となられました。

後に生まれた五柱の子は、

天菩比命の子の**建比良鳥命**(たけひらとりのみこと)が、

出雲国造(いづものくにのみやつこ)

无邪志国造(むさしのくにのみやつこ)

上菟上国造(かづさのかみのくにのみやつこ)

下菟上国造(しもつけのくにのみやつこ)

伊白牟国造(いじむくにのみやつこ)

津嶋縣直(つしまのあがたのあたひ)

遠江国造(とうとうみのくにのみやつこ)

等(ら)の祖(おや)となりました。

天津日子根命（あまつひこねのみこと）は、

川内国造（かふちのくにのみやつこ）

額田部湯坐連（ぬかたへのゆあのみらじ）

茨木国造（うばらやのくにのみやつこ）

倭田中直（やまとのたなかのあたひ）

山代国造（やましろのくにのみやつこ）

馬來田国造（うまくたのくにのみやつこ）

道尻岐閉国造（みちのしりきへのくにのみやつこ）

周芳国造（すはのくにのみやつこ）

倭淹知造（やまとのけむちのくにのみやつこ）

高市縣主（たけちのあがたぬし）

蒲生稻寸（かまふのいなさ）

三枝部造（ささくさべのみこと）

等（ら）の祖（おや）です。

須佐之男命は、

「我が心が清かるゆえに

我が手弱女（たおやめ）を得たのだ。

だからワシが勝ったのじゃ」

と勝ちを荒々しく宣言しました。

七五読み

さきになります
たきりひめには
おきつのみやに
いちきしまひめ
なかつのみやに
たきつのひめは
へのつのみやに
このみはしらの
むなかたきみら
みまへおほかみ

ところかみ
むなかたの
いましてす
むなかたの
いましてす
むなかたの
いましてす
かみさまは
いつきます
なりといふ

故其先所生之神
多紀理毘売命者坐胸形之
奥津宮
次市寸嶋比売命者
坐胸形之中津宮
次田寸津比売命者坐胸形之
辺津宮
此三柱神者
胸形君等之以伊都久
三前大神者也

のちになります
このうちあめの
そのこのたける
いづものくにの
むさしのくにの
かずさのかみの
しもつけのくに
いじむつくにの
つしまのあがた
とほとほみくに
これらのおやに

いつはしら
ほひみこと
ひらとりは
みやつこの
みやつこの
みやつこの
みやつこの
みやつこの
あたひらの
みやつこの
なるたるぞ

故此後所生五柱
子之中天菩比命
之子建比良鳥命
此出雲国造
无邪志国造
上菟上国造
下菟上国造
伊自牟国造
津嶋縣直
遠江国造
等之祖也

あまつひこねの

みことには

次天津日子根命者

かうちのくにの

みやつこの

凡川内国造

ぬかたべのゆあ

むらじらの

額田部湯坐連

うばらきのくに

みやつこの

茨木国造

やまとのたなか

あたひらの

倭田中直

やましろのくに

みやつこの

山代国造

うまくたのくに

みやつこの

馬來田国造

みちのしりきへ

みやつこの

道尻岐閉国造

すほうのくにの

みやつこの

周芳国造

やまとのけちの

みやつこの

倭淹知造

たけちのあがた

ぬしのほか

高市縣主

がもふのいなさ

さえすさの

蒲生稻寸三枝

べのみことらの

みおやなり

部造等之祖也

すさのをみこと

あまてらす

尔速須佐之男命

おほみのかみに

まをすには

白于天照大御神

「あがこころ

「我心

清明故我所生子

きよかるゆへに

あがうむこ

得手弱女

たをやめえるを

まをさなば

因此言者自我勝

おのずとわれが

かちたるぞ

云而於勝佐備

いひてはかちを

さびにけり。

(此二字以音)

国造 県知事

県主 県知事

縣直 (県主の姓)

云而於勝佐備 (此二字以音) いひてはかちを さびにけり

さび

荒び・寂び

動詞「さぶ」の未然形・連用形

一般的な解釈 勝ち誇りました。

倭塾での解釈 勝ちを荒々しく宣言しました。